(イラスト:TH-P50VT5)

説明イラストは、TH-P50VT5を元に作成しています。

Panasonic

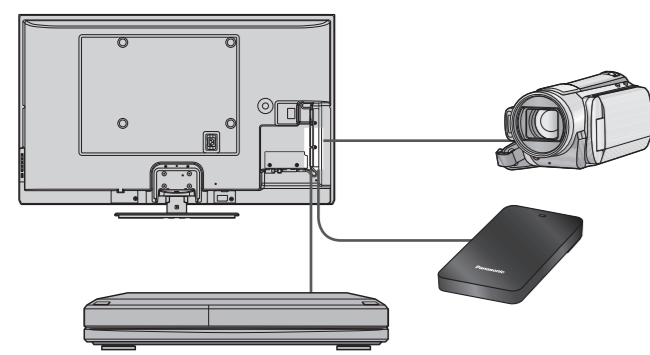
地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョンプラズマテレビ

VT5シリーズ

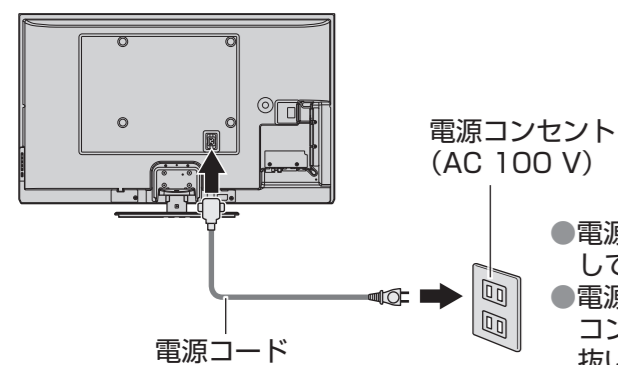
接続ガイド

●接続する機器側の取扱説明書もあわせてご覧ください。
●よく使う操作は「かんたん操作ガイド」、使いかたや設定などの詳細は「基本ガイド」と「ビエラ操作ガイド」をご覧ください。
●接続に使うケーブル類、コードなどは事前にご用意ください。別売のケーブルやコードについては、裏面の「ケーブル・コード一覧(別売品)」をご覧ください。
●ケーブル先端部および機器の形によっては、背面や側面の接続端子に接続できないことがあります。

接続ガイドの見かた

●(☞基本ガイド○○ページ)…詳しい解説は、基本ガイドをご覧ください。
●([?]ガイド○○○)…詳しい解説は、ビエラ操作ガイドをご覧ください。
(例)([?]ガイド501)…リモコンで[?] 5 10 1 と押す。
● ➡ 信号の流れを示します。

本機に接続できる機器については次ページをご覧ください。

いろいろな機器の接続 次ページへ

電源コードについて

●電源コードはすべての接続が完了してから差し込んでください。
●電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

TQB4TC0239
S0112-0

いろいろな機器の接続

必要な機器を接続してください。

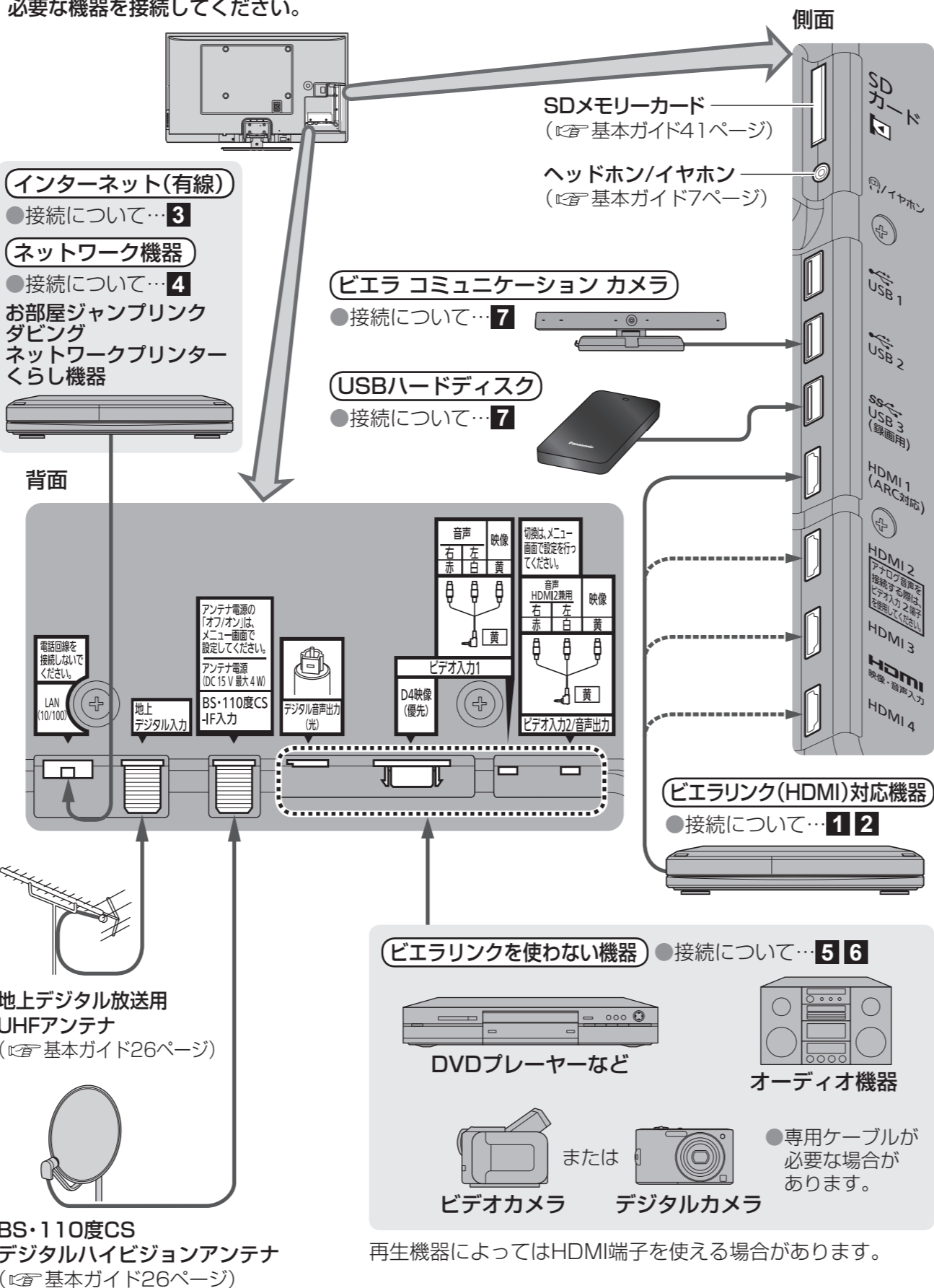
ビエラリンクを使わない機器 ●接続について…5 6

DVDプレーヤーなど

オーディオ機器

ビデオカメラ または デジタルカメラ

●専用ケーブルが必要な場合があります。

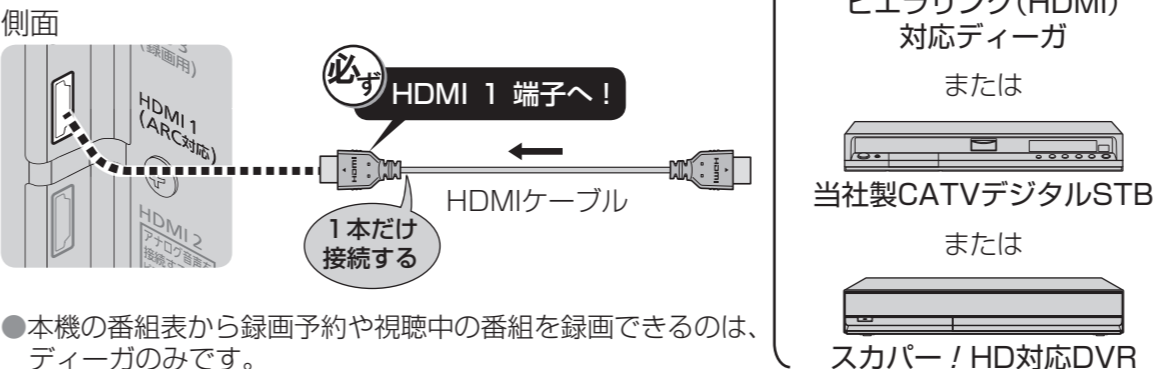
再生機器によってはHDMI端子を使える場合があります。

ビエラリンク(HDMI)対応機器を接続

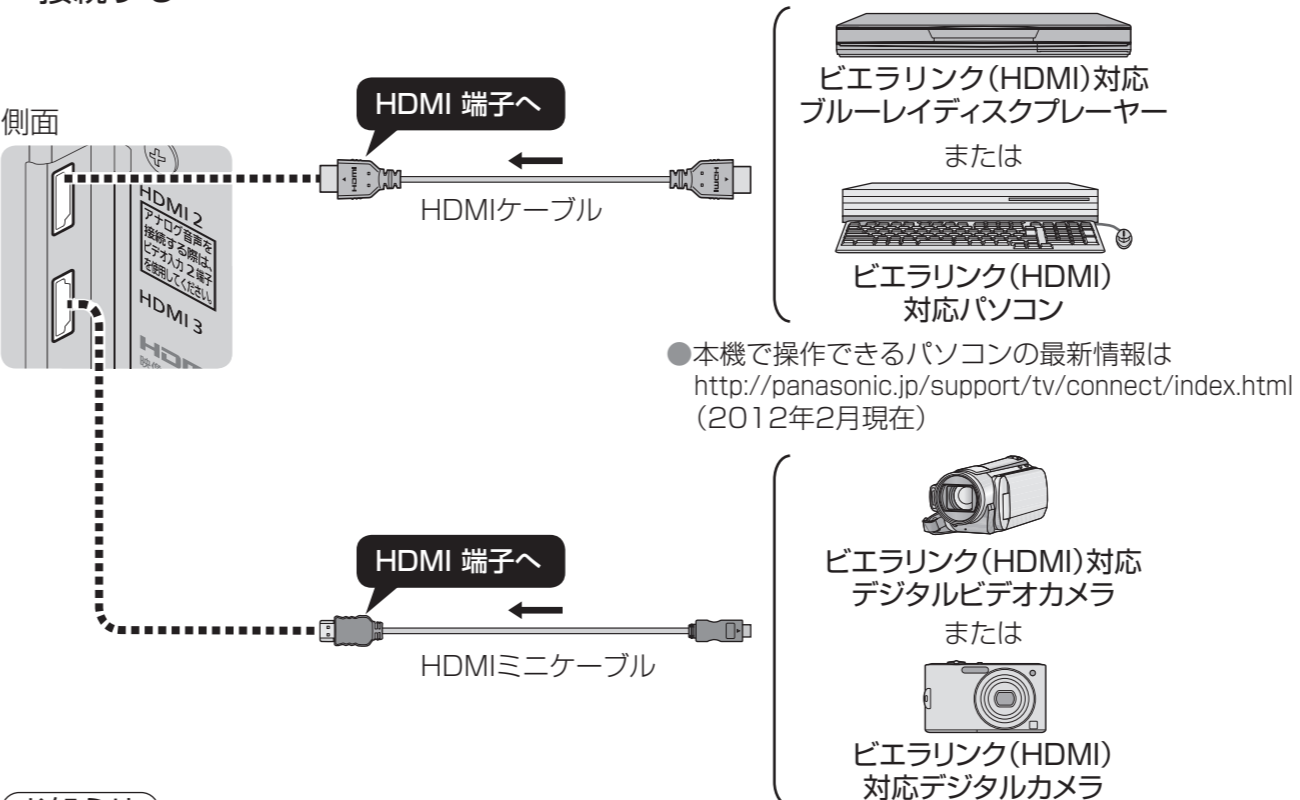
1 ディーガなどの接続

●ビエラリンク(HDMI)を使う(☞基本ガイド34ページ)
●HDMI端子について(☞基本ガイド51ページ)

●ビエラリンク(HDMI)で録画に使う機器は、HDMI 1端子に接続してください。
●ビエラリンク(HDMI)で操作できるのは、各機器につき1台です。同じ種類の機器を接続した場合、ビエラリンク(HDMI)で操作できるものは、番号の小さいHDMI端子に接続した機器のみです。

■ビエラリンク(HDMI)で録画に使う機器を接続する

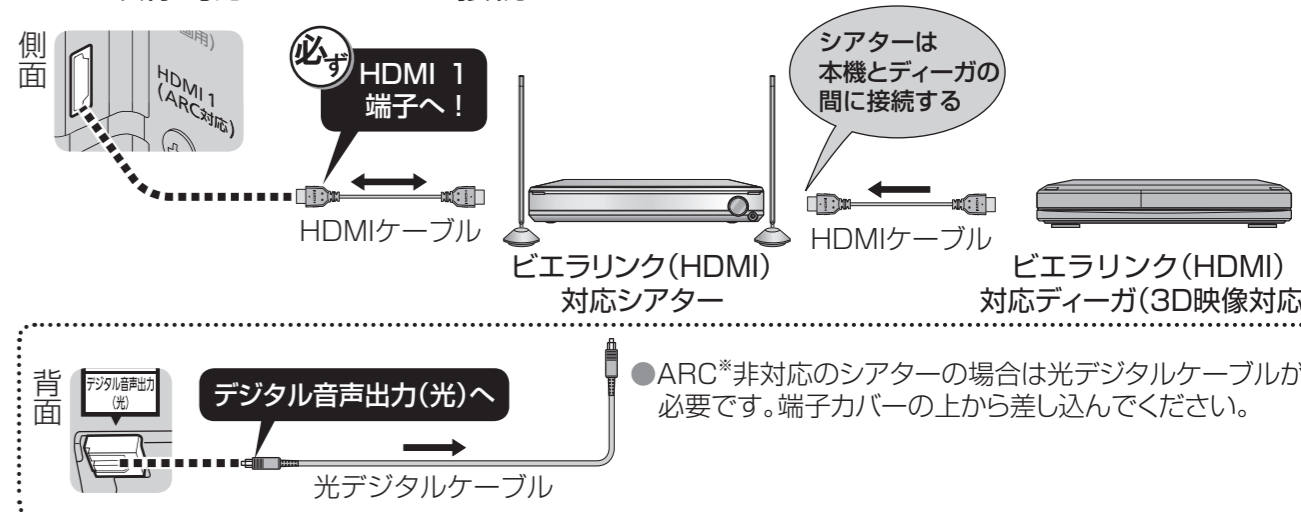
●本機の番組表から録画予約や視聴中の番組を録画できるのは、ディーガのみです。

■ビエラリンク(HDMI)で再生のみできる機器を接続する

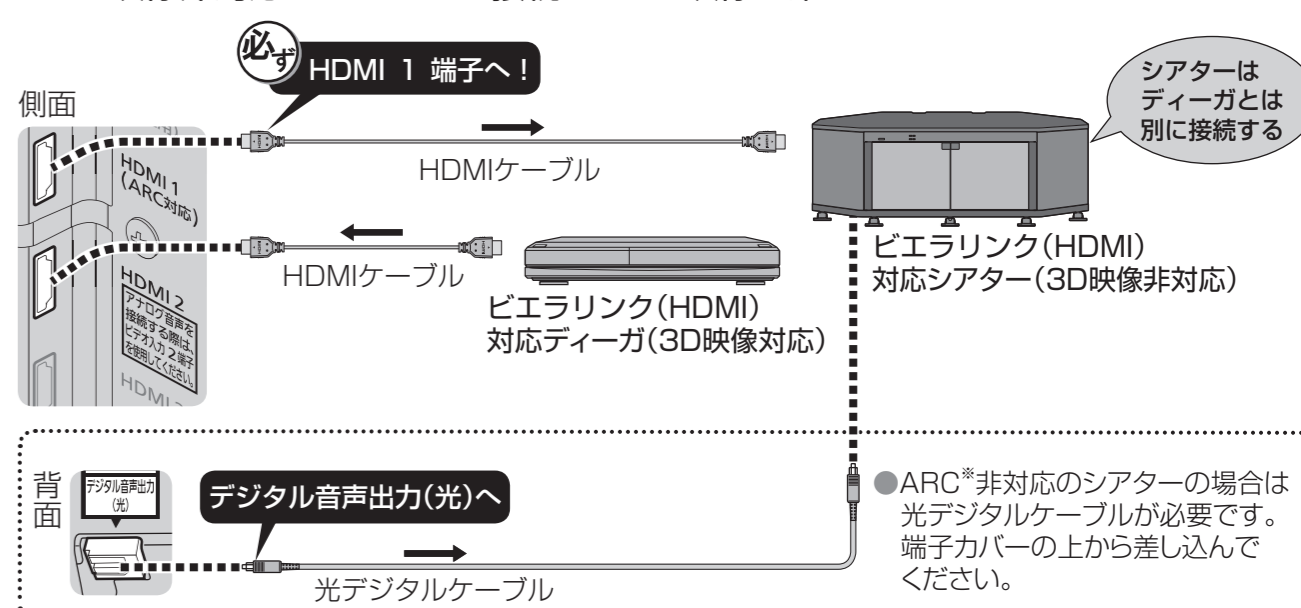
●本機で操作できるパソコンの最新情報は
http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html
(2012年2月現在)

(お知らせ)
●HDMIケーブルは当社製を推奨します。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

2 シアターとの接続

●シアターは、ラックシアターやサウンドセットなど当社製機器の総称です。
●本機で操作できるシアターとディーガは各1台です。
●3D映像を視聴するときは、HDMIロゴのある「High Speed HDMIケーブル」をお使いください。

■3D映像対応のシアターを接続する

●ARC※非対応のシアターの場合は光デジタルケーブルが必要です。端子カバーの上から差し込んでください。

■3D映像非対応のシアターを接続して3D映像を楽しむ

●ARC※非対応のシアターの場合は光デジタルケーブルが必要です。端子カバーの上から差し込んでください。

※ARC(オーディオリターンチャンネル)とは、本機のHDMI端子(ARC対応)からシアターのHDMI出力端子(ARC対応)にデジタル音声信号を送る機能で、光デジタルケーブルでの接続が不要です。

接続後の設定

●「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」を「する」に設定。必須([?]ガイド822)
●機器を操作したときに、連動して本機の電源を「入」にしたい場合は、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「電源オン連動」を「する」に設定。([?]ガイド822)

インターネット、ネットワーク機器の接続

●接続後は「かんたんネットワーク設定」を行ってください。（☞基本ガイド56ページ）

3 インターネットへの接続

●インターネットへの接続は、プロバイダーや回線業者との契約内容に基づいて接続してください。（回線の種類は下欄参照）

インターネットへ

LANストレートケーブル（有線LAN）での接続

背面

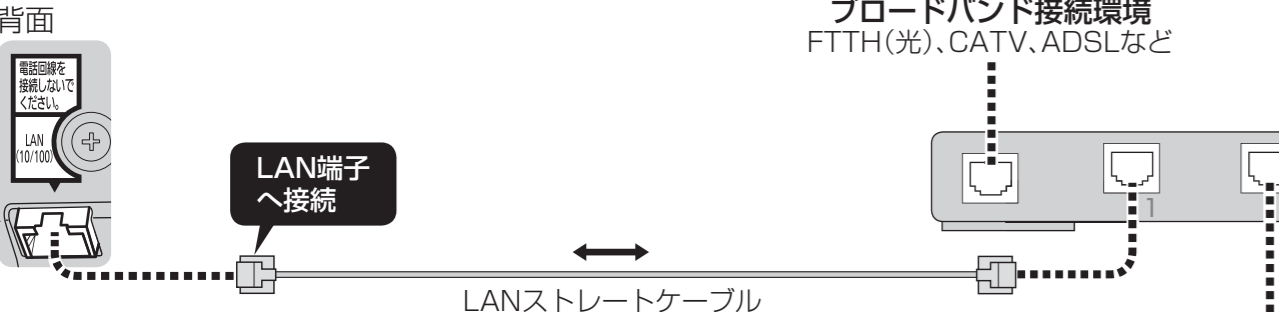
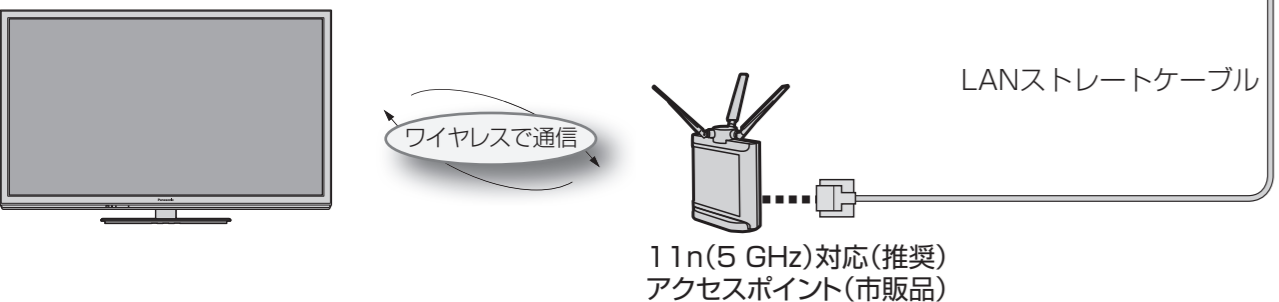
LAN端子へ接続

LANストレートケーブル

ブロードバンド接続環境
FTTH（光）、CATV、ADSLなど

内蔵無線LANでの接続

ワイヤレスで通信

11n(5 GHz)対応（推奨）
アクセスポイント（市販品）

LANストレートケーブル

（お知らせ）

●インターネットへ接続する際は、パソコンでの設定が必要になることがあります。
●LANストレートケーブルと無線LANの両方を接続することができますが、どちらで通信するかは、「接続方法」（?ガイド764）または「かんたんネットワーク設定」（☞基本ガイド56ページ）で設定してください。

回線の種類と接続の例

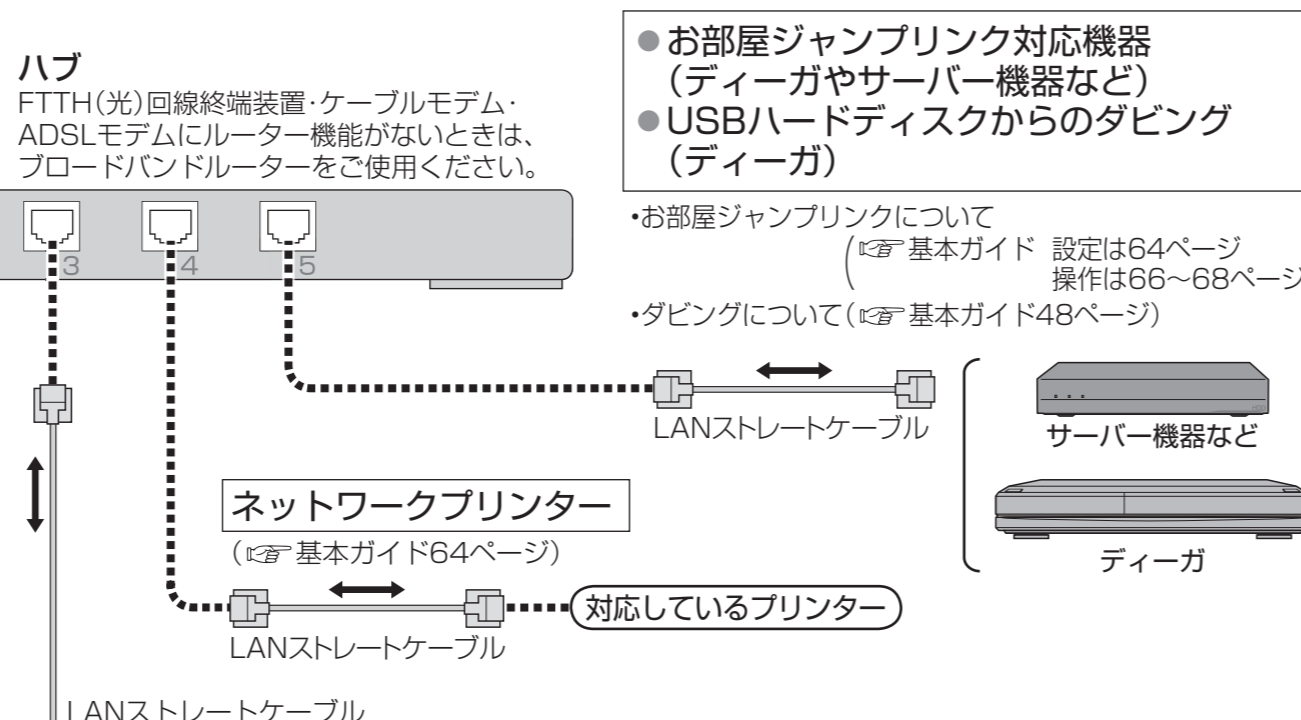
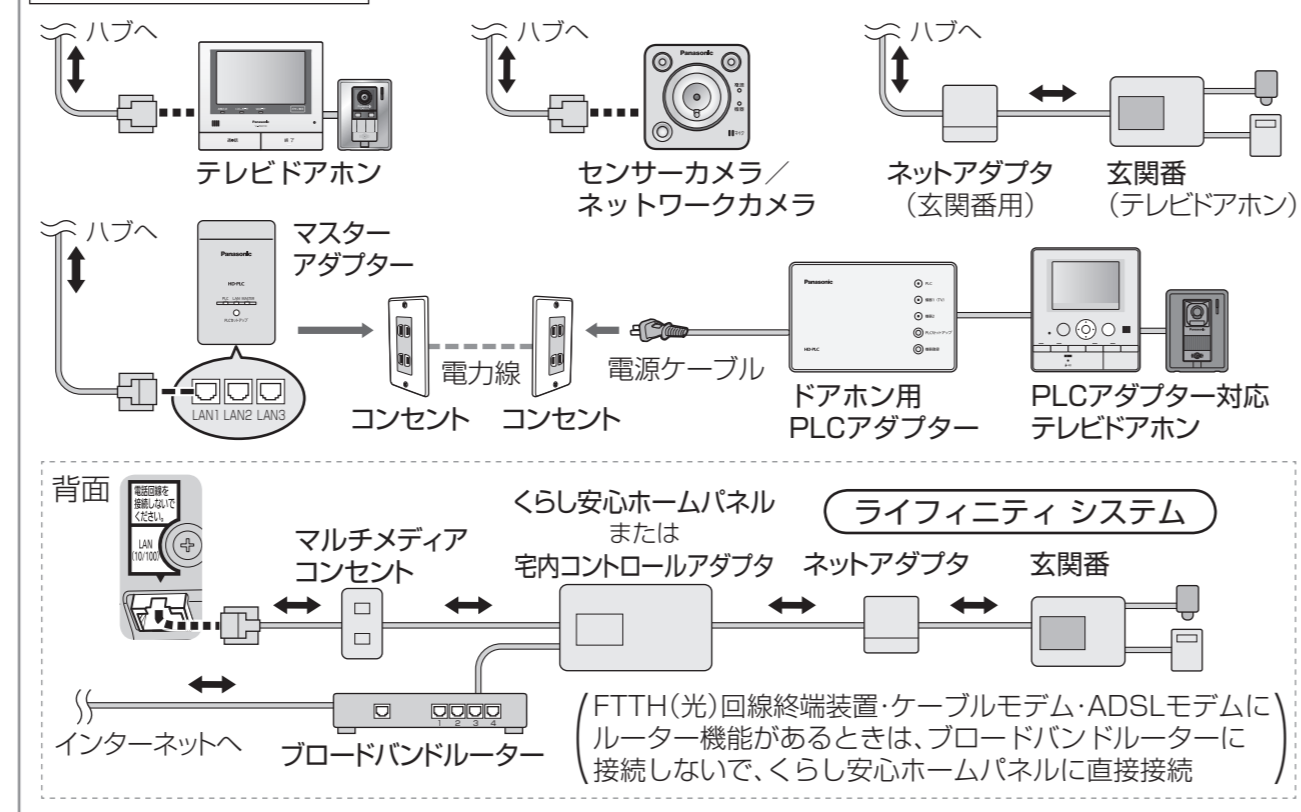
FTTH（光）／ケーブルテレビ：FTTH（光）回線終端装置／ケーブルモデム — LANストレートケーブル — ハブへ

ADSL：電話コンセント — モジュラーケーブル（市販品） — スプリッター — モジュラーケーブル（市販品） — 電話機／ADSLモデム — ハブへ

背面

4 ネットワーク機器の接続

●本機にハブまたはブロードバンドルーターを接続し、各ネットワーク機器を接続してください。
●接続については、ネットワーク機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ハブ
FTTH（光）回線終端装置・ケーブルモデム・ADSLモデムにルーター機能がないときは、ブロードバンドルーターをご使用ください。

●お部屋ジャンプリンク対応機器（ディーガやサーバー機器など）
●USBハードディスクからのダビング（ディーガ）

・お部屋ジャンプリンクについて（☞基本ガイド 設定は64ページ 操作は66～68ページ）
・ダビングについて（☞基本ガイド48ページ）

LANストレートケーブル — サーバー機器など／ディーガ

ネットワークプリンター

（☞基本ガイド64ページ）

LANストレートケーブル — 対応しているプリンター

LANストレートケーブル

くらし機器（当社製）

（☞基本ガイド64ページ）

ハブへ — テレビドアホン
ハブへ — センサーカメラ／ネットワークカメラ
ハブへ — ネットアダプタ（玄関番用） — 玄関番（テレビドアホン）
ハブへ — マスターアダプター（LAN1 LAN2 LAN3） — コンセント — 電力線 — コンセント — 電源ケーブル — ドアホン用PLCアダプター — PLCアダプター対応テレビドアホン

背面 — マルチメディアコンセント — くらし安心ホームパネル または 宅内コントロールアダプタ — ネットアダプタ — 玄関番（ライフィニティ システム）
インターネットへ — ブロードバンドルーター

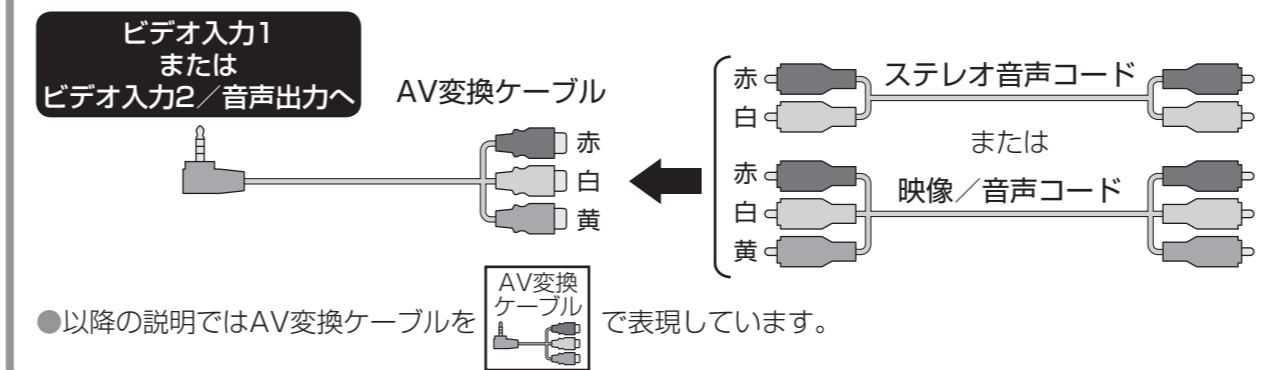
（FTTH（光）回線終端装置・ケーブルモデム・ADSLモデムにルーター機能があるときは、ブロードバンドルーターに接続しないで、くらし安心ホームパネルに直接接続）

ビエラリンクを使わない機器の接続

AV変換ケーブル（付属品）について

ビデオ入力端子への接続は、付属のAV変換ケーブルをご使用ください。
●AV変換ケーブルをビデオ入力端子へ接続する際は、**抜けないように奥までしっかりと**接続してください。

ビデオ入力1 または ビデオ入力2／音声出力へ — AV変換ケーブル（赤・白・黄） ← ステレオ音声コード（赤・白） または 映像／音声コード（赤・白・黄）

●以降の説明ではAV変換ケーブルを［AV変換ケーブル］で表現しています。

5 再生機器（DVDプレーヤーなど）の接続

●ビデオ入力端子について（☞基本ガイド51ページ）
●HDMI端子について（☞基本ガイド51ページ）

■D端子またはビデオ端子に接続する

●接続する機器によっては、専用ケーブルが必要な場合があります。

背面 — AV変換ケーブル — ビデオ入力1へ <D端子接続時> — ステレオ音声コード／D端子映像コード

または

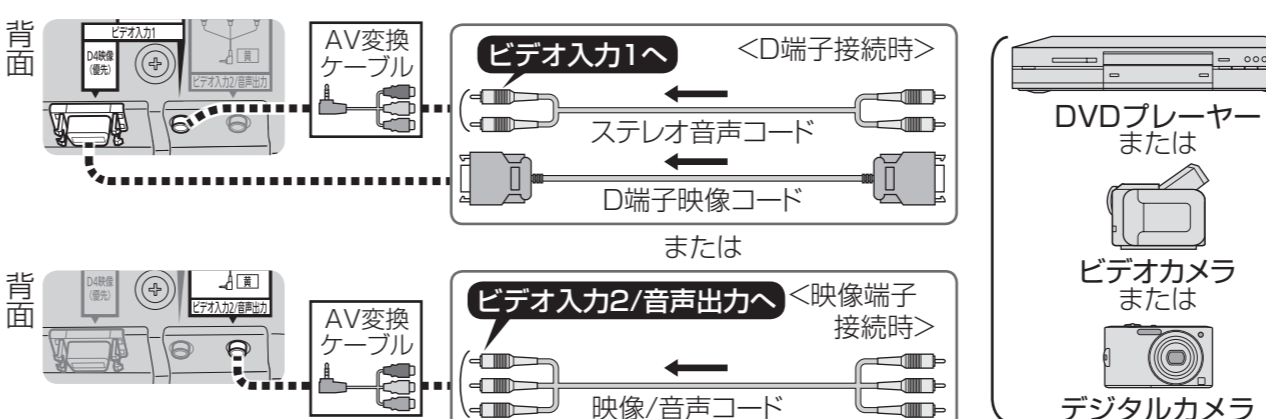
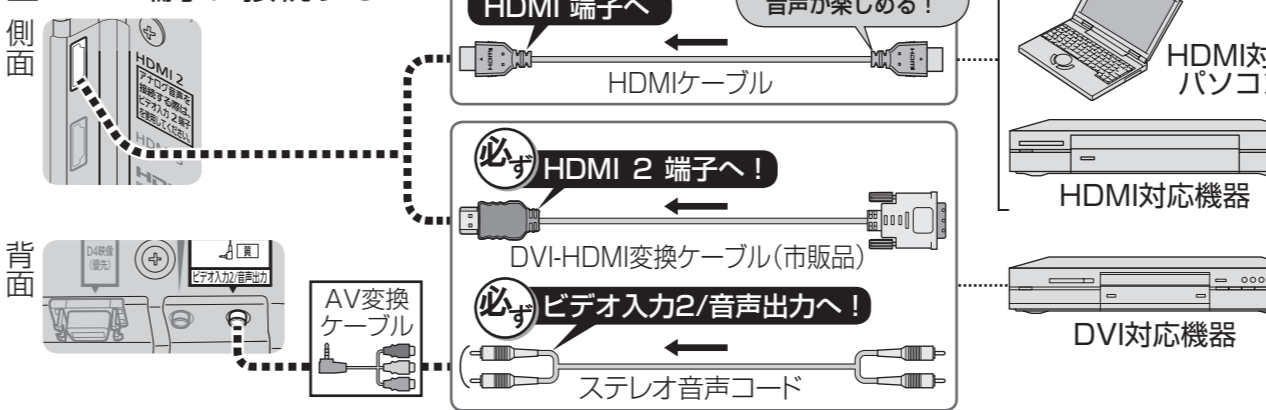
背面 — AV変換ケーブル — ビデオ入力2/音声出力へ <映像端子接続時> — 映像/音声コード

DVDプレーヤー または ビデオカメラ または デジタルカメラ

■HDMI端子に接続する

側面 — HDMI 端子へ — HDMIケーブル（1本で高画質な映像と音声が楽しめる！） — HDMI対応パソコン／HDMI対応機器

必ずHDMI 2 端子へ！ — DVI-HDMI変換ケーブル（市販品） — DVI対応機器

背面 — AV変換ケーブル — 必ずビデオ入力2/音声出力へ！ — ステレオ音声コード

接続後の設定

●ビデオ入力2/音声出力に接続時は「ビデオ２音声入出力設定」（?ガイド842）
●リモコンの入力切換ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えるには、「ビデオ入力表示書換」（?ガイド828）
●リモコンの入力切換ボタンで選ぶとき、接続していない端子を飛ばすには：外部入力スキップ設定「入力自動スキップ、HDMIスキップ」（?ガイド837）

ビエラリンクを使わない機器の接続

6 オーディオ機器の接続

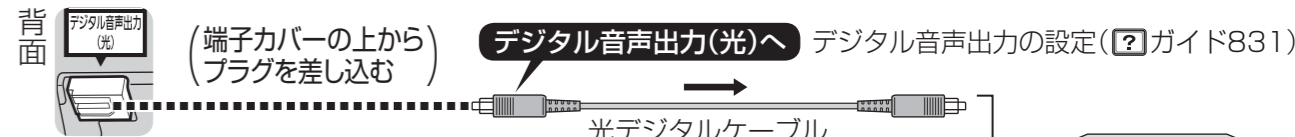
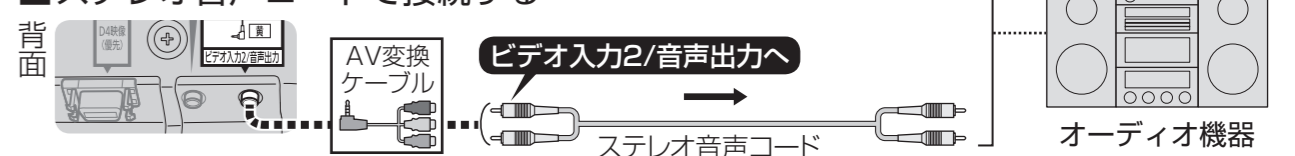
●接続できるオーディオ機器について（☞基本ガイド50ページ）

■光デジタルケーブルで接続する<機器に光デジタル端子があるとき>

背面（端子カバーの上からプラグを差し込む） — デジタル音声出力（光）へ — 光デジタルケーブル — オーディオ機器

デジタル音声出力の設定（?ガイド831）

■ステレオ音声コードで接続する

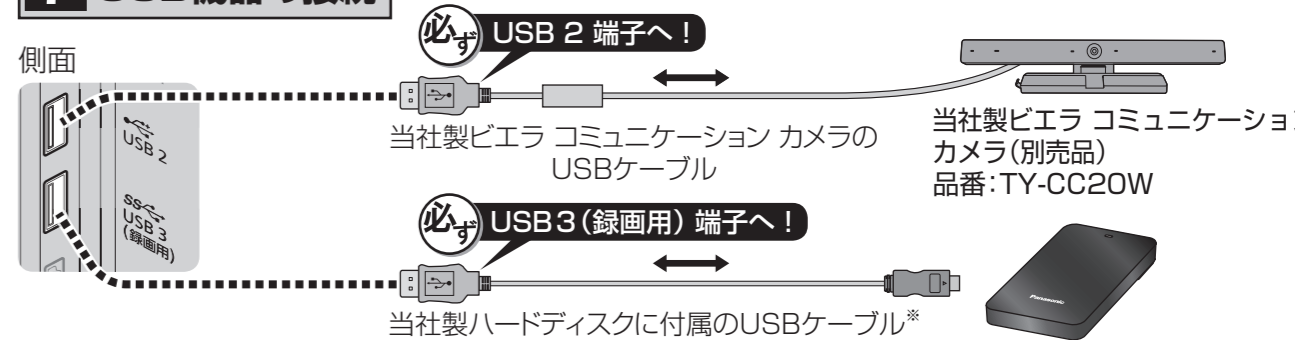
背面 — AV変換ケーブル — ビデオ入力2/音声出力へ — ステレオ音声コード — オーディオ機器

USB機器の接続

7 USB機器の接続

●USB端子に関するご注意（☞基本ガイド43ページ）

側面

必ずUSB 2 端子へ！ — 当社製ビエラ コミュニケーション カメラのUSBケーブル — 当社製ビエラ コミュニケーション カメラ（別売品） 品番：TY-CC20W

必ずUSB３（録画用）端子へ！ — 当社製ハードディスクに付属のUSBケーブル※ — 当社製ハードディスク（別売品） 品番：DY-HD500

●本機で動作確認済のUSB機器の最新情報は
http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html
（2012年2月現在）
※USB3.0対応のUSBハードディスクを接続するときは、USB3.0対応のUSBケーブルをご使用ください。

ケーブル・コード一覧（別売品）

接続する機器に合わせてご用意ください。

●HDMIケーブル RP-CDHS30（3 m）など
●HDMIミニケーブル RP-CDHM30（3 m）など
●D端子映像コード RP-CVDG15A（1.5 m）など
●D端子-ピン映像コード RP-CVCDG15（1.5 m）など
接続機器の端子が「Y、PB、PR」「Y、CB、CR」「Y、B-Y、R-Y」などの場合にご使用ください。
●映像/音声コード RP-CVP3G20（2 m）など
●ステレオ音声コード RP-CAP3G20（2 m）など
●光デジタルケーブル RP-CA2010（1 m）など